

新環境クリーンセンター環境学習施設 運営活動ワーキンググループ			第5回
打合せ議事録			
打合せ日時	平成31年2月12日(火) 19:00~21:00	発議者	川崎重工業・クリーン工房
打合せ場所	富士市民活動センター	記録者	クリーン工房 二井
出席者	富士市市民(市民)	川崎重工業(KHI) クリーン工房(CKB)	
	敬称略・順不同	敬称略	
	(市民) 時田、原口、篠原、八木、山田、牧野、石原、長谷川 (準備事務局) 今屋敷、鳥谷、熊谷 (11名)	(川崎重工) 谷口 (クリーン工房) 江頭、張替、二井 (4名)	
	(NPOエコデザイン市民社会フォーラム) 坂本 (1名)		
議題	1. 議事録及び検討事項の確認 2. 備品選定における内容確認(協議内容の備品及び決定備品の確認) 3. その他(まとめ)		
提出資料名	提出資料名(KHI・CKB → 市民)		
	・第5回新環境クリーンセンター環境学習施設 運営活動WG 次第 ・第4回新環境クリーンセンター環境学習施設 運営活動WG 議事録 ・実習室「どきどきトライ!」設備・備品まとめ		

項目 No.	発言者	打 合 せ 内 容	確認欄	
			市民	K H I C K B
1	CKB	議事録の確認及び検討事項の確認 第4回環境学習施設運営活動WG打合せ議事録の確認		
2	CKB	備品選定における内容確認 市の要求水準書に基づき、各諸室のプログラム内容を達成しなければいけない。その為に、活動プログラム進捗一覧表⑨の「実習室「どきどき。トライ!」の9項目部分の各諸室のプログラム内容の具体的な什器・備品の内容確認を行う。		
	CKB	提出資料の「設備・備品まとめ」の要求水準書部分に対して、協議内容部分を確認していき、決定備品を決める。		
	市民	木工教室の中に竹細工が含まれているのか。		
	CKB	→市からの要求水準書の項目で記載している。		
	市民	→「木工教室」と「竹芸」や、「洋服のリメイク」と「裂き折り」、その他も共通備品以外の什器・備品が異なる。		
	市民	各諸室のプログラム項目の協議内容の細分化を行わなければ什器・備品が明確にならない。		
	市民	協議内容部分は市民の意見を反映し細分化したらどうか。		
	CKB	→実際に協議した内容で市民の意見を反映し、什器・備品の細分化を行う内容で考えてみる。		
	CKB	→プログラム項目の細分化を行う事により、項目ごとに講師も分類が出来るので分かりやすくなる。		
	CKB	ガラス細工 有識者のヒアリング →バーナーを使用する場合は工場の様なモルタル造りが必要になり、消防法の規定にも定められている為実施が難しい。 →新環境クリーンセンターではビンを再利用し花瓶の作成や、七宝焼きであれば可能である。ただし、七宝焼きはリサイクルとの関係性はなくなってしまう。		
	CKB	リサイクルとの関係性が無くなるので、他に良い案があれば教えてほしい。		
	市民	→リサイクルビンにタイルを張り付ける。		
	市民	→リサイクルビンを切りコップを作成する。		
	市民	→ウイスキーのビンを切ってランプシェードを作成する。		
	坂本	→ビーチグラスを作成する機械を入れる。		

項目 No.	発言者	打 合 せ 内 容	確認欄	
			市民	K H I C K B
	市民 CKB	実験教室 →幅広く什器備品がそろっていれば色々と出来る可能性が広がる。 →顕微鏡5個、アルコールランプ5個、フラスコ5個の計画を行うが、実際に適切かどうかは分からないので仮置きとする。		
	市民 CKB	最小限必要な什器・備品を決めなければいけない為、共通備品を決める。 →詳細な什器・備品及びプログラムに関しては指定管理者として年間の計画を作成し決めていく。		
3	CKB 市民	その他 新環境クリーンセンターに来館する事により、環境への取り組みを行えることを地域へ広める事が大切である。 →活動者としてのプログラムは沢山あるので、空いている時間があればプログラムを行いたい。 例えばビオトープでは、完成時点で自然観察が可能である。 例) 1ヶ月でどれくらい草が生えたかの確認等		
		次回予定 第5回 新環境クリーンセンター環境学習施設 運営活動WG 平成31年 月 日 () 19:00～ (場所：富士市民活動センター) 以上		